



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	主要地方道 藤原宇都宮線 宇都宮市 金田町～上田原町 上田原北工区 L=2,000m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

事業の概要

【目的】

県道藤原宇都宮線は、日光市藤原と宇都宮市を結ぶ路線であり、広域的な連携を担うとともに、地域の生活を支える重要な幹線道路である。

現道は幅員狭小で大型車のすれ違いに支障があり、歩道も未整備であることから、通学児童が危険にさらされており、朝夕の通勤時間帯には渋滞も発生していることから、道路利用者の安全で円滑な通行の確保が課題となっている。

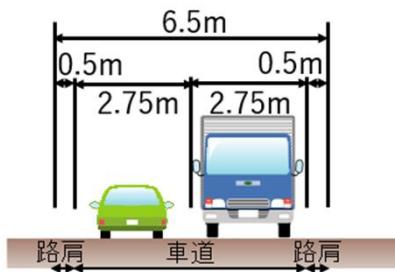
本事業により、事業区間の整備を図ることで、地域間の連携・交流の強化や産業活動の支援等を図るものである。

【現況】

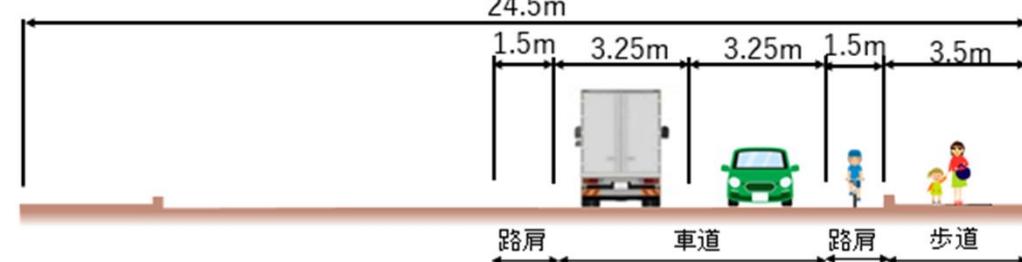
目標事業期間 (変更前)	平成28(2016)年度～令和10(2028)年度 (平成28(2016)年度～令和7(2025)年度)
事業経過	平成28年度 事業化 平成30年度 用地調査・用地取得等に着手 令和元年度 工事着手 令和7年度 再評価(今回)
全体事業費 [うち用地補償費]	22.0(19.0)億円 [7.0(9.0)億円] ※()は前回計画時
事業延長 [うち整備済延長]	L=2,000m [L= 0m]
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 14.7億円 67% [うち用地補償費 5.4億円 77%]

■標準横断図

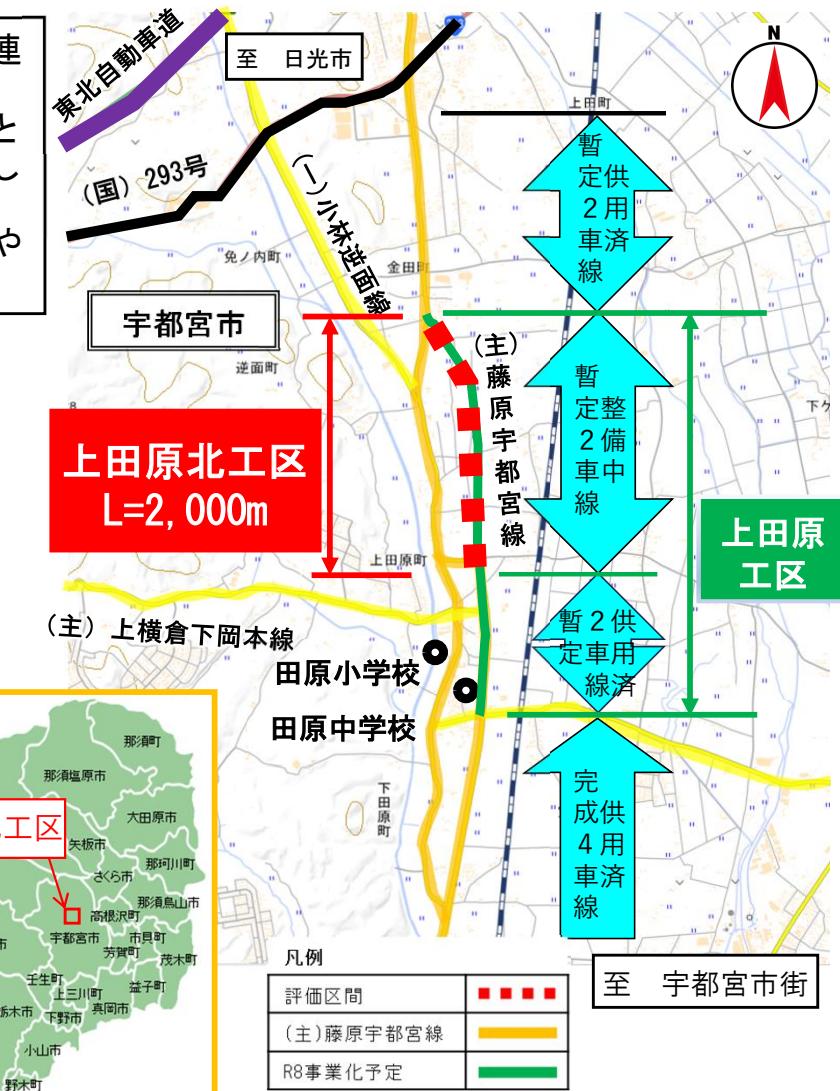
現況



計画一般図



【事業概要図】



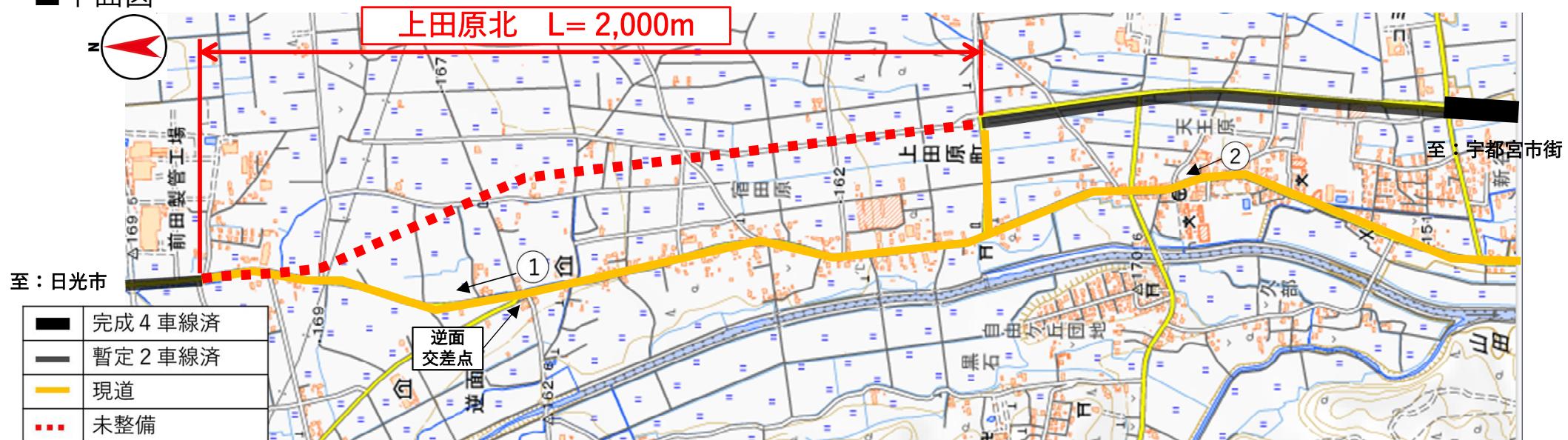
事業の概要

【事業内容】

■現況写真



■平面図



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- ・事業期間の見直し
令和7年度 ⇒ 令和10年度
- ・総事業費の見直し
19億円 ⇒ 22億円

【全体事業費の見直し】

前回計画
(H27年度)

今回計画

	事業費	19.0億円 ⇒ 22.0億円 (+ 3.0億円)
内 訳	工事費	10.0億円 ⇒ 15.0億円 (+ 5.0億円)
	用地補償費	9.0億円 ⇒ 7.0億円 (- 2.0億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	3.0	76億円	24億円
(2)残事業	9.6	76億円	8億円

2 事業の整備効果等

- ・渋滞緩和により、道路利用者の円滑な通行が確保される。
- ・歩道及び路肩の整備により、歩行者自転車の安全な通行が確保される。
- ・地域間の連携・交流の強化や産業活動の支援が図られる。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

1 事業の進捗状況

- ・ 全体事業進捗率 67%
- 用 地 77%
- 工 事 62%



2 今後の事業進捗の見込み

- ・ 工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る。



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- ・ 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- ・ 77%の用地補償を実施済みであり、一部工事にも着手していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。